



2021. 12. 22

東京センチュリー(株)と「サステナビリティ・リンク・ローン」契約を締結

静岡銀行(頭取 柴田 久)では、SDGs への取り組みの一環として、本日、東京センチュリー(株) (代表取締役社長 野上 誠) に対し、コアレンジャーとして、シンジケーション方式による「サステナビリティ・リンク・ローン」の契約を締結しましたので、その概要をご案内します。

なお、本件は、静岡銀行が日本銀行の「気候変動対応を支援するための資金供給オペレーション(気候変動対応オペ) ※」を利用する際の投融資基準に合致したローンとなります。

※日本銀行が民間における気候変動対応を支援するため、日本における気候変動対応に資する投融資の残高の範囲内で行う資金供給オペレーションで、静岡銀行は「気候変動対応オペ」の対象先に選定されています。

1. シンジケートローンの概要

- (1) 契約締結日/12月22日(水)
- (2) 実行日/12月27日(月)
- (3) 契約期間/4年
- (4) 組成金額/580億円(うち静岡銀行 50億円)
- (5) アレンジャー・エージェント/三菱UFJ銀行 コアレンジャー/静岡銀行
※アレンジャー/契約条件の調整、シンジケート団を組成する参加金融機関の募集、契約手続きなど、案件の取りまとめを行います。
※エージェント/参加金融機関の代理人として、契約期間中の資金決済などの事務手続きを行います。
- (6) 資金使途/事業資金
- (7) 貸出人/静岡銀行、三菱UFJ銀行ほか

<サステナビリティ・パフォーマンスターゲット>

脱炭素社会への貢献	2023年12月末までに二国間クレジット制度の想定GHG削減貢献量(累計)目標49,000トンを達成
人材力強化につながる	従業員の年次有給休暇取得率70%以上を維持
職場環境整備	従業員の男性育児休業取得率100%を維持

2. シンジケートローン組成の背景・目的

- 東京センチュリー(株)では、経営理念「東京センチュリーグループは、高い専門性と独自性を持つ金融・サービス企業として、事業の成長に挑戦するお客さまとともに、環境に配慮した循環型経済社会の実現に貢献します」に基づき、事業を通じて社会課題の解決に貢献し企業価値向上を図る「サステナビリティ経営」のさらなる強化に取り組まれています。
- 具体的には、二国間クレジット制度(JCM)の代表事業者を務めるなど、脱炭素社会の実現や社会インフラの整備に向けた取り組みを展開しています。また、従業員一人ひとりの能力を最大限発揮できる働きやすい職場環境の整備や、健康増進、多様で柔軟な働き方を実現することで、従業員エンゲージメントの向上にも取り組んでいます。
- 静岡銀行では、本シンジケートローンに参加することで、SDGsの目標達成に資する同社の事業活動を支援するとともに、今後も、持続可能な地域社会づくりに向けてESG金融の推進に取り組む方針です。

※本件は、㈱格付投資情報センターから、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠や、設定したサステナビリティ・パフォーマンスターゲットの合理性について第三者意見を取得しています。